

第54回九州地区大学一般教育研究協議会議事録

<https://doi.org/10.15017/20633>

出版情報：九州地区大学一般教育研究協議会議事録. 54, 2006-03-10. 九州地区大学一般教育研究会
バージョン：
権利関係：

1. 九州地区大学一般教育研究協議会日程

【第1日目】平成17年9月16日（金曜日）

I. 一般教育研究会委員会（11:00～11:45）

II. 一般教育研究協議会開会行事（13:00～13:20）

- 1 委員長挨拶 梶 洪（九州大学高等教育総合開発研究センター長）
- 2 当番大学長挨拶 崎 元 達 郎（熊本大学長）

III. 基調講演（13:20～14:45）

統一テーマ「大学での『知の創造』に向けて」

講師：絹 川 正 吉（国際基督教大学名誉教授・前国際基督教大学長）

IV. 部会座長等紹介 長 谷 義 隆（熊本大学教養教育実施機構長）

V. 系列別部会発表（15:30～18:00）

[人文・社会科学部会]

座 長：熊本県立大学 教授 弘 谷 多喜夫

副座長：熊本県立大学 教授 永 尾 孝 雄

（発表1）教養科目としての「新熊本学」の開講と今後の課題

熊本県立大学 助教授 米 谷 隆 史

（発表2）授業の充実性を決めるもの—系列・方法・信頼—

佐賀大学 講師 村 山 詩 帆

（発表3）学生達が心理学に対して期待するものと、心理学が提供できるもの

熊本大学 教授 渡 辺 功

[自然科学部会]

座 長：崇城大学 教授 厚 山 健 次

副座長：崇城大学 教授 長 正 徳

（発表1）高校物理未履修クラスの現状と問題点II

九州大学 教授 巨 海 玄 道

九州大学 教授 篠 崎 文 重

（発表2）ITを活用した物理教育の試み—黒板の代わりにMathematicaを利用—

九州東海大学 助教授 藤 原 勉

（発表3）習熟度別クラス編成と補習

崇城大学 講師 井 上 勲

[外国語部会]

座長：熊本学園大学 教授 木下 隆雄

副座長：熊本学園大学 助教授 吉川 勝正

(発表1) コミュニケーション能力を高めるための授業例

大分県立芸術文化短期大学 教授 染矢 正一

(発表2) 英語(外国語科目)教育の現状と課題

熊本学園大学 助教授 小城 義也

(発表3) 英語構造認識のキーワード、動詞限定形 (finite form)

宮崎大学 助教授 宮田 泰雄

(発表4) 「英語が使える日本人」の育成に当って~チャットを「秘密兵器」として

熊本学園大学 教授 米岡 ジュリ

[保健体育部会]

座長：九州東海大学 教授 米沢 久

副座長：九州東海大学 教授 紫垣 由則

(発表1) 健康・スポーツ科学科目再編成の理念と内容

九州大学 助教授 杉山 佳生

(発表2) 熊本大学における体育・スポーツ科学の課題

-授業改善のためのアンケート結果から-

熊本大学 助教授 小澤 雄二

[情報教育部会]

座長：熊本大学 助教授 喜多 敏博

副座長：熊本大学 助手 右田 雅裕

(発表1) 共通教育としての「情報処理教育」の現状と今後の課題

琉球大学 教授 黒田 登美雄

(発表2) 熊本大学での全学規模の e-Learning 講義と成績評価

熊本大学 助手 右田 雅裕

(発表3) 九州大学における情報処理教育と課題

九州大学 教授 河原 康雄

(発表4) 学部横断情報基礎教育「情報処理入門」の現状と今後の課題

熊本学園大学 教授 長谷川 正道

(発表5) 熊本大学の全学1年次必修科目「情報基礎」における教員協調体制

熊本大学 助教授 喜多 敏博

[教養教育論部会]

座長：熊本大学 教授 山田 雅彦

副座長：熊本大学 助教授 黨 武彦

(発表1) 教養教育の意義と社会的役割－鹿児島大学の模索－

鹿児島大学 教授 根建 心具

(発表2) 文理融合を通しての教養教育

九州東海大学 助教授 小松 敏弘

(発表3) 学際系・総合系科目の新しいカリキュラムデザインを目指して

熊本大学 教授 山田 雅彦

【第2日目】平成17年9月17日(土曜日)

VI. テーマ別部会発表(9:00～12:00)

[学生のユニバーサル化への対応]

座長：熊本大学 助教授 本間 里見

副座長：熊本大学 講師 高橋 幸

(話題提供1) 九州大学21世紀プログラムの4年間

九州大学 助手 岡田 佳子

(話題提供2) 鹿児島大学のユニバーサル化への対応

鹿児島大学 教授 根建 心具

[授業評価と授業改善]

座長：熊本大学 助教授 木村 浩則

副座長：熊本大学 助教授 折田 充

(話題提供1) 授業評価用紙の比較検討と改善

九州女子短期大学 教授 大庭 茂美

(話題提供2) 毎回の授業における学生による授業評価「大福帳」と授業通信紙の活用

長崎県立大学 講師 宮原 順寛

(話題提供3) 「学生による授業評価」にみる成果と課題

－学生主体から大学主体へ－

熊本学園大学 教授 守弘 仁志

VII. 閉会(12:00)

2. 九州地区大学一般教育研究会委員会

開催日時 : 平成17年9月16日(金) 11:00~11:35

1. 当番大学挨拶

熊本大学 足立副学長から挨拶があった。

2. 議長選出

九州地区大学一般教育研究会委員長 畷 洪(九州大学高等教育総合開発研究センター長)を選出した。

3. 庶務・会計事業報告

① 庶務事業報告

淵田庶務委員から、次のとおり庶務事業報告があった。

平成16年9月17日~18日

大分大学を当番校として「第53回九州地区大学一般教育研究協議会」を開催

平成16年9月30日

事業所から「第53回九州地区大学一般教育研究会委員会議事要旨」を加入大学に送付

平成17年3月10日

事業所から「第53回九州地区大学一般教育研究協議会議事録」を加入大学ならびに関係機関等に送付

平成17年4月22日

事業所から「平成17年度九州地区大学一般教育研究会委員の選出についての依頼」を加入大学へ送付

平成17年4月25日

熊本大学から「第54回九州地区大学一般教育研究協議会」の実施案について確認依頼

平成17年4月28日

長崎短期大学から「本学は、長崎国際大学の併設校で同一法人であるので、会則に照らし合わせて、委員の数や会費の件で検討して欲しい」旨の申し入れ。

委員長と協議の結果、大学名、住所も異なり、また、過去2年間申し出がなかったこと等を考慮して、委員の数や会費等については、本年度から併設校として取扱うこととし、長崎短期大学の了承を得た。

平成17年6月3日

熊本大学から、加入大学へ送付する「第54回九州地区大学一般教育研究協議会への出席依頼文書」について確認依頼

従来、当番大学名と委員長名で別の文書を作成していたが、連名とすることとした。

平成17年6月8日

熊本大学から、加入大学へ「第54回九州地区大学一般教育研究協議会」への参加依頼文書の送付

平成17年8月23日

事業所から、加入大学に対し「平成17年度九州地区大学一般教育研究会加入大学名簿」の確認依頼

平成17年8月26日

活水女子大学から、併設校である活水女子短大は、平成16年3月末を持って閉校になっているとの連絡があり、加入大学名簿の修正を行った。これにより加入大学は、45校、加入短大は14校（うち、併設大学とともに加入7校）となった。

平成17年9月12日

事業所から、加入大学に対し「平成17年度九州地区大学一般教育研究会加入大学名簿」の再確認依頼

長崎短期大学については、今年度からの取扱いとすることについて了承された。
活水女子短期大学の退会については、委員会決定事項であるが、閉校という特殊事情によるものであるため、本報告により了承することとした。

② 会計事業報告

小山会計委員から、次のとおり会計事業報告があった。

平成17年4月13日

平成16年度決算報告書を作成

平成17年4月19日

則松監査委員が平成16年度分の会計監査を実施

平成17年4月22日

事業所から加入大学に対し、「平成17年度九州地区一般教育研究会の会費納入について」の依頼文書を送付

平成17年8月2日

加入大学（短期大学）の会費納入について確認（全て納入済）

平成17年9月12日

平成18年度予算（案）を作成

平成17年度 中間報告

平成18年度繰越見込額を186,268円と算定

4. 議 事

(1) 次期開催地等の決定について

議長から、資料2に基づき説明があり、平成18年度は、鹿児島地区で開催、当番大学は鹿児島大学とすることを了承した。

おって、委員長から平成18年9月8日（金）・9日（土）で開催するとの報告があつているとの説明があつた。

次いで、根建 鹿児島大学教育センター長から、必要な準備等を進めていくとの発言があつた。

なお、委員長から、平成19年度は、福岡地区の大学が当番校として開催し、日程等については、平成18年度の委員会において決定する旨の説明の後、西南学院大学に当番大学としての内諾を得ている旨の補足説明があつた。

(2) 平成18年度加入大学等について

議長から、平成18年度の加入大学については、現段階では入退会したい旨の申し出がないので、平成17年度の加入大学名簿のとおりとしたい旨の説明があり、了承した。

また、委員長から委員の選出については、事業所である九州大学から依頼を行うが、変更が生じた場合は、速やかに事業所へ届け出を行って欲しい旨の協力依頼があつた。

(3) 平成18年度委員長等の選出について

議長から、会則では、委員長は委員の互選により選出することになっているが、慣例により、九州大学高等教育総合開発研究センター長が委員長となっている旨の説明があり、平成18年度も同様の取扱いをすることを了承し、瀧 九州大学高等教育総合開発研究センター長を委員長として選出した。

次いで、瀧 委員長から、庶務委員、会計委員、監査委員については委員長が委嘱することとなっているが、平成18年度も現委員に引き続きお願いしたい旨の説明があり、次のとおり了承された。

庶務委員 淵田教授（九州大学高等教育総合開発研究センター）

会計委員 小山助教授（九州大学高等教育総合開発研究センター）

監査委員 則松教授（福岡大学共通教育センター）

(4) 協議会の座長等について

議長から、協議会の座長・副座長について説明があり、了承した。

(5) 平成16年度決算報告について

小山会計委員から、平成17年度の決算報告があつた後、則松監査委員から、平成17年4月19日に平成16年度の会計監査を行い、金銭出納簿、預金通帳ならびに関係の帳票等を厳正に監査した結果、適正に処理されているとの報告があり、平成16年度決算報告を了承した。

(6) 九州地区大学一般教育研究会会則の一部改正について

淵田庶務委員から、一般教育研究会の各事業における経費が膨大となっており、本年度までは繰越金を利用して運営してきたが、可能な限りの節約を行っても、支出が

会費を上回ることは避けられない状態であるため、会費を値上げしたい旨、改正理由について説明があり、改正を了承した。

これにより、大学の会費は、現行の18,000円から20,000円に変更（ただし、短大は現行の15,000円のまま）となった。

なお、この取扱いは、平成18年度からとすることとした。

(7) 平成18年度事業計画及び予算について

議長から、次年度は鹿児島大学を当番校として、開催することが了承されたので、各事業を進めていく旨の説明があり、了承した。

次いで、小山会計委員から、平成18年度予算案の説明があり、了承した。

(8) その他

なし